

# やすらぎ

39号

平成26年9/1  
二中地区市民委員会  
文化・広報部発行  
電話 824-3588  
FAX 824-3553



真夜中に咲いた月下美人

## 環境部の活動について

環境部 部長 荒井 榮一

今年度の活動は、「ごみの減量化」「資源化運動」「環境美化」「水質浄化運動」「花いっぱい運動」等です。ごみ減量と資源化は「みんなで作る循環型のまちつちうら」の基本理念に基づく活動です。27年度からは、「生ごみ」と「容器包装プラスチック」の分別収集になります。環境美化の一環としてポイ捨て防止看板の設置を、真鍋小学校児童の協力のもとに実施しています。

また、今年度は二中地区自然環境調査（チャレンジクラブ事業）に協力し、環境美化へも反映を試みたいと思料しております。花いっぱい運動には、市の厳しい審査があります。部員として公民館職員の方々と昨年の「優秀賞」以上の成果をと頑張っています。公民館を訪れると入口玄関左右にいっぱいの花が皆様を歓迎しているのが目に入ると思います。二中地区の皆様と、これらの運動を未来へ引き継ぐために部活動を推進いたします。ご協力ご支援をお願いします。

子どもから高齢者まで  
何がお困りのこと  
ありませんか？

社会福祉協議会真鍋支部  
飯村 貴久

社協支部では、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の進展のため、地域の方々やボランティア団体、各関係機関などのご協力をいただきながら、積極的に地域福祉活動を推進してまいります。

毎月第一金曜、第三土曜日に実施している宅配型食事サービスや、地域のひとり暮らし高齢者を対象にした食事会や交流会などの各種事業を実施しております。また、「ふれあいネットワーク」を推進し、支援を必要としているすべての人を対象として、地域の身近な福祉の相談窓口としての役割も担っております。お気軽にご相談ください。



社会福祉協議会  
地域福祉係からまいりました。よろしくお願ひ致します。

# チャレンジクラブの活動紹介

チャレンジクラブは、異年齢の小学生が年間を通じて、同じグループでさまざまな体験活動を行い、協調性や思いやりの心を育み、郷土「土浦」に対する理解と愛着を深めることを目的としています。今年度も年間十一回の活動を計画しています。

今年度は、真鍋小学校の四年生七名、五年生十名、六年生十三名、合計三十名でスタートしました。

チャレンジクラブは、二中地区の市民委員会の青少年育成部の協力を得てチャレンジクラブの三つの約束「①いつも元気にあいさつします。②どんなときにも友だちを大切にします。③どんなことにも思いきってチャレンジします」が達成できるように取り組んでいきたいと思えます。

今年度の計画は次の通りです。

- 5月 開講式・マジック教室
  - 6月 うどん作りと野外活動
  - 7月 航空科学博物館の見学
  - 8月 二中地区自然環境調査①
  - 9月 敬老の日プレゼント作り
  - 10月 二中地区自然環境調査②
  - 11月 筑波山登山に挑戦
- 二中地区文化祭に参加

- 12月 りんりんロードサイクリング
- 1月 合同音楽会
- 2月 閉講式と特製ランチ作り

五月十七日(土)の開講式には、チャレンジ生二十九名、市民委員会の羽生委員長をはじめ、真鍋小学校の廣原校長、こども福祉課の大里課長、青少年育成部員の皆さん、そしてたくさんの方のご出席をいただきまして、無事開講式を終えました。引き続き、矢口孝氏によるマジック教室を楽しく行いました。



六月十四日(土)には、白浜少年自然の家に出かけ、うどん作りとミニオリエンテーリングを実施してきました。育成部の協力もあり、粉からのうどん作りは、思ったよりスムーズに作業が進み、美味しいうどんを作ることができました。班員のチームワークで苦労してできたうどんの味は格別でした。その後、班対抗によるミニオリエンテーリングを行いました。

## チャレンジ生の作文紹介



### うどん作りと野外活動に参加して

真小五年 松崎 遥人

ぼくは、うどん作りやオリエンテーリングをして、すごく楽しかったです。特にうどん作りでは、自分たちで一から作り、トッピングなども自分たちで作ったのですごくおいしかったです。オリエンテーリングでは協力してやりとげたので良かったです。これからも休まずにチャレンジクラブに参加したいです。

真小五年 梶山 優月

私がうどん作りと野外活動に参加して思ったことは、皆で協力してうどんを作ったとしても美味しくできたこと、野外活動では、一位、二位になれなかったけど、頑張れたので良かったことです。今回の体験はとてもいい経験だったと思いました。

## 新職員紹介



公民館指導員

中島 宏

四月一日より、この公民館でお世話になり、すでに五ヶ月が過ぎました。学校とは違い公民館は、二中地区住民の皆様を対象としている所に戸惑いを感じていました。四月からの勤務の中で地域の方々のこの二中地区公民館活動に寄せる温かい支援と公民館行事や市民委員会への協力体制に感心しています。

私は特にチャレンジクラブを中心に担当します。地域の方や公民館を利用してくださる方々との交流を大事にしていきたいと思えます。微力ですが、公民館活動を通して少しでも地域に貢献できればと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

# 市民委員会専門部事業

## 参加報告

スポーツ健康部  
バスハイキング事業

### 「那須山ハイキング」

新井 三希子

六月十一日、公民館をバス二台で出発しました。那須山山頂までは霧の中をゴンドラで行き真下に楓やモミジの緑とナナカマドの白い花が見え、紅葉の頃の景色を想像させられました。愛子内親王のお印の花として有名なゴヨウツツジのコースは、三日前の雨で散ってしまいましたが花びらが山肌を白くしていました。

ツツジや楓など新緑の中を歩き楽しい一時間ほどのハイキングでした。「お菓子の城」で昼食に出た「とちおとめ」の苺ゼリーを美味しく食べ、食後は隣の源泉かけ流しの湯で汗を流しました。

小雨の露天風呂では緑の芝生と白い花水木の花が清々しく、お湯と景色を十分に堪能しました。

帰りの車中では、お土産の「御用邸の月」を全員で頂き、満開のツツジが見られず雨が悔やまれましたが楽しい一日でした。



## 合同視察研修

### 『防災体験施設視察』に参加して

青少年育成部 中島 文政

いつ起こるか分からない！起こって欲しくない災害！

三月七日の視察研修「東京臨海広域防災公園」は、首都圏で大規模な地震災害が発生した場合に、この公園全体が広域的な指令機能となる重要な施設とお聞きしました。

この公園は、国営公園と都立公園が融合した広大なスペースとなり、平常時は憩いの場として親しまれているとの事です。

併設の「防災体験学習施設・そなエリア東京」には防災体験ゾーンと学習ゾーンがあり、いろいろな体験を受けることができました。

この学習ゾーンの施設で私がくぎ付けとなり目を留めたのがオペレーションルームでした。災害発生時は、国の最高機関としての指令塔になる緊急災害現地対策本部に早変わりするという巨大ルームでした。

でも私は、このオペレーションルームが稼働する事態にならないよう祈りたいと思いました。稼働するとなれば最悪のこと。阪神大震災や

東日本大震災の悲惨さは懲り懲り！いつまでも対策本部が設置されない親しみのある公園と学習施設で有り続けて、と願いたいです。

この視察研修で得た知識を身につけて、今以上に危機管理意識を強く持ち「自分の身体は自分で守る」が最後の手段でしょう

か。この度は有意義な研修に参加させて頂き、ありがとうございました。



# 二地区 地区長紹介(3)

昨年度より四町内ごとにご紹介しています。今回は木田余地域の四町内と新任の地区長をご紹介します。



新任

木田余町 飯山孝之

趣味：スポーツ観戦

木田余町は、歴史と伝統をもった町であります。近年、住居表示区画整理事業によって町の一部が他町内に編入されています。

この町は、古くは木田余城などがあり木田余村の時代や神立真鍋との合併等々、更には、明治時代農地改良を目的とした「木田余青年会」を結成したり、大正時代には当時のデモクラシー運動に刺激されて「惜春会」を結成。その主要メンバーは、木田余出身者で占められていたそうです。昭和に入り、木田余出身者三名の市長が六期二十四年間市政に携わってきました。このようにして木田余町は、先人達の努力により数々の発展に貢献してきました。これらのごことを後世に伝えてまいります。



木田余東台一、二 南川幸之進

趣味：読書、写真、家庭菜園、そば打ち、麻雀

木田余東台は、霞ヶ浦を見降ろす高台に位置し恵まれた環境の新しいまちで、住民のほとんどが全国から集まっています。又、約三〇〇名の小学生が、スポーツに勉学に励む活気あふれるまちです。昨年の市民体育祭でAブロック優勝を成しとげました。町内組織はゼロからの出発であり青年会の立ち上げ等若者の力が不可欠です。春の町内清掃、秋は住民自発清掃、有志による木田余中央公園の草刈り等を実施しています。

春と秋には、東台親睦スポーツ大会を実施し、多くの子供達が参加しています。自分達で出来ることは自分達でやることで住民相互の絆が深まり、明るいまちづくりに繋がってまいります。



木田余東台三、四、五 櫻井光市

趣味：ウォーキング 海釣り

木田余東台は、国体道路の東側に位置する新興住宅地で、土浦寄りが一・二丁目と神立寄りが三・四・五丁目と構成されています。

この町は、戸建て四三〇世帯、アパート四九八世帯の新興住宅地で、出身者は全国各地からです。住民の親睦、融和を図る為に毎年八月第二日曜日東台フェスティバルを開催しています。余興（バルーンアート、フラガール等）、模擬店（焼きそば、ジュース、ビール等）、抽選会を行い例年多数の来客（前年約一五〇〇名で盛大に行っています。又、市民体育祭で前年は初優勝し、今年も体育部長、育成会、青年会、各班長と力を合わせ優勝を狙い反省会で美味しい酒をと願っています。



新任

木田余西台 名和幸二

趣味：読書、ゴルフ ウォーキング

木田余西台町内会は、平成二十年四月に「旧木田余一区」より独立して六年経過しました。現在の町内会を築き上げてくれたのは、住民の皆様方をはじめ、歴代役員のご支援ご協力の賜ものでございます。

特に大震災等に対する日常の備えに関しては毎年検討してきましたが、本年度は、防災に対する強化推進の一環として「木田余西台自主防災会組織」設立に向けて、町内の皆様、各班長、育成会、役員等にご協力を頂きながら取組みを行っています。引き続きお互いの交流を深め、住民間の「絆」をなお一層強めて、住んで良かった、これからも住んでいたい、明るい住み良い西台町内会をめざして努力してまいります。

真鍋新町  
殿松里  
若松町  
東都和  
真鍋二丁目

和知五月  
菊田和男  
鈴木雅美  
吉田俊夫  
境武

真鍋三丁目  
真鍋四丁目  
真鍋五丁目  
真鍋六丁目  
西真鍋町

皆藤嘉宏  
勝間田貞美  
羽生佐洪  
大川勝己  
軽部孝次郎

### 新任の地区長さん をご紹介します 旧地区長さん、 お疲れ様でした！

<b>新地区長</b>		<b>(旧地区長)</b>	
真鍋一丁目	東真鍋町	本橋 泰雄	(山口 卓三)
木田余西台	木田余町	下田 衛	(高橋 和興)
		飯山 孝之	(川島 一男)
		名和 幸二	(糟谷 邦弘)



**新任**  
真鍋一丁目  
**本橋 泰雄**  
趣味：スポーツ観戦  
サイクリング

今年の一月より、前山口卓三区長の後を引き継ぎました本橋です。

真鍋一丁目は、二四五世帯、五百人弱の人が住んでいる小さな町内です。今年六月には、町内に大型店が相次いでオープンし、明るくなり活気が出てまいりました。その反面、町内の道路は交通量が増えたり、防犯面においても注意をする心配が増大いたしました。

平成十六年より実施してきました防犯パトロールは、高齢化等により参加者が減り、昨年末で休止しておりますので、早急に見直しを行います。施してまいりたいと考えております。

町内の皆様のご協力をいただき、交流をさらに深め、住んで良かった街となるよう取り組んでまいります。



**新任**  
東真鍋町  
**下田 衛**  
趣味：面打ち

弁天池：今は東真鍋児童公園と名を変えたが、子どもの頃は全体が池であった。鮎や鯉、クチボソ、ザリガニ等がいて、沢山のトンボが群れていた。オニヤンマは大型で水面を這うように飛び、中程の水蓮の葉に止まっていた。オニヤンマを捕った者は英雄だった。池では年に一度、池干しの日があり、朝から皆、大はしゃぎでバケツや網を持って池につながる水路で待ちかまえていた。大きな鮎を捕った記憶が残っている。

池はいつしか埋められ今の形になっている。小さな弁天池が昔の名残を留めている。今年の夏休みも、連日子どもたちが集まり、ザリガニ捕りに歓声をあげていた。いつの時代にあっても、弁天池は聖地である。

## 前期講座

## 受講生からの声

おばあちゃんの手作りはんてん  
齋藤 幸子

獅子頭彫刻に魅せられて  
石原 昭

被災地へはんてんを送ろうという企画があった。はんてんを持つてはいても、作ったことがない。そんな時にはんてん講座の募集。いろいろな思いを胸に応募者が多数集まり、木村壽子先生の講座を受講できることになった。

「木を彫ると心が暖かくなる。自分が何かの形になるのを木は喜んでくれるよ。うだ」(高



この文を書いている現在、全八回の内三回が終了した所であるが、毎回受講者から感嘆の声が上がる。それは長い年月に受け継がれてきた技が随所にちりばめられているからである。布の仕立て方のこと、きせ、かくしじつけ、胴はぎ、四つ留め、袖口布のこと、挙げれば切りがない。一つ一つがパズルのように組み込まれていき、綿入れはんてんが姿を現してくる。

この技を後世に残したいという先生の熱い思いをうけて残り五回で出来る限り学びたい。



村光太郎)は、こう書いている。私は木彫りが好きで「面打ち」やバードカービング、版画を楽しんでいるが、日本を代表する伝統芸能の一つの獅子頭彫刻に魅せられて二中地区公民館の獅子頭彫刻講座を受講した。獅子頭は桐の板を張り合わせた。獅子頭は桐の板を張り合わせた。それぞれの部分をノミで彫ったりナイフで削ったりして整えてから組み立てて下塗り、本塗りをして仕上げた。獅子頭一体作るのに一年近くかかるが完成に近づく過程は感動的である。魔除けや厄払いの縁起物として後世に残るような獅子頭を目指して気分わず、急がず、時間をかけて、出来上がった時の達成感を味わいたいと思っている。

花とハーブのガーデニング講座

井下 久美

ベランダのプランターでハーブを植えた事は何度かありましたが、上手に成長せず諦めていた所、今回このような講座があるので早速参加させて頂きました。全二回の講座で、一回目は公民館の花壇にハーブの花を植える実習でした。数ヶ月後の事を想像しながらの花の配置、高さや色、花の特徴などを考え植えていきました。これがどんどん成長して更に見ごたえのある花壇になっていくのがとても楽しみです。

二回目は、夏から秋まで楽しむガーデニングのツボを先生が色々説明してくれました。その後寄せ植えの実習になり、五種類のハーブをバランス良く植え、大変豪華な寄せ植えが出来ました。二回の講座でしたが内容が濃い講座で大変勉強になりました。参加出来て良かったです。



歌舞伎鑑賞教室を受講して

西村 宏一

子供の頃、婆ちゃん達が白黒テレビで楽しんでいた歌舞伎が嫌いでした。役者の台詞や所作が分からないし、ナレーター役の義大夫節は子供心を十分に怖がらせました。以来、歌舞伎座改築で、歌舞伎の人気が出た最近まで、歌舞伎とは疎遠でした。

しかし、「よし、歌舞伎の面白さが分かったぞ、今度は銀座の歌舞伎座へ行こう」とそんな気持ちにさせてくれたのがこの講座、「古典芸能に親しむ」(歌舞伎編)でした。七月三日、国立劇場の歌舞伎鑑賞教室に参加しました。

観劇の前に「歌舞伎のみかた」について解説を受けました。これが良かったです。演技する俳優の言葉やポーズ、舞台の仕組みなどの説明です。そして、出し物の「傾城反魂香」を鑑賞。仕事一途の駄目亭主としてかり者の女房のストーリーで、我が姿をみているようでした。何度も笑いました。歌舞伎の見方を変える機会を頂き、公民館講座に感謝します。



同好会だより

自力整体同好会

代表 関口 久美子

私達同好会は、自力整体を通して体の自然治癒力を高め健康的な生活が送れるよう、阿部京子先生を囲んで楽しみながら週一回活動しております。

多くの方に触れて頂きたく六月四日〜七月九日まで計六回の公民館講座を開催していただきました。三十名定員で三十代〜六十代の方々。最終日は二十名位でした。

皆様の感想は、  
・体を伸ばして気持ち良かった。  
・普段使っていない筋肉が伸びてリンパが流れていると実感した。  
・先生のソフトな声や指導で大変癒やされた。  
・今度主人と参加できたら…。  
・自力整体という言葉にひかれ体験したが心地好い疲れで夜もぐっすり眠れ、これからも続けようと思った。 などでした。  
皆様ご参加ありがとうございました。同好会でもお待ちしております。



地域のお助け人

山口美知雄さん (真鍋一丁目)



お孫さんの小学生時代は、町内の旗当番をしていました。卒業後はボランティアで真鍋小学校入口(山松獣医科医院前)で、毎日のように小学校の先生方と一緒に児童の安全を見守ってくれています。このように一人でも多くの人が、地域の子ども達を見守ってくれるのは、うれしい事です。



又、山口さんは、公民館内の市民委員会青少年育成部員としても活躍中です。  
「やすらぎ」では、新しく「お助け人」のコーナーを設けました。皆様の町内でボランティアなどご紹介したい方がいらっしゃいましたらお知らせ下さい。  
広報部

# ケーナコンサート 開催報告



去る二月十六日、二中地区公民館において、文化広報部主催による渡辺大輔氏のケーナコンサートが開催されました。

ケーナは南米アンデス発祥の縦笛で、透き通るような「風の音色」が特徴の楽器です。当日はサンポーニャ（管楽器）の酒井亮祐氏、チャランゴ（弦楽器）の保坂幸恵氏、ギターの大塚源三氏とのアンサンブル。



ケーナを演奏する渡辺氏

「コンドルは飛んでゆく」「コーヒールンバ」などの南米の伝統曲の他、「もののけ姫」やソチオリンピックのテーマ曲「今、咲き誇る花たち

よ」などのなじみ深い曲も交え、合わせて十数曲、一時間半たっぷり演奏いただきました。ポリビア音楽の演奏では、会場に詰めかけた約七十人の聴衆の手拍子で大いに盛り上がる場面もあり、日頃聞きなれないアンデスの楽曲に感動し、心癒されたコンサートとなりました。

コンサート終了後、参加者からは「とても魅力的な演奏で、なぜか郷愁を誘われて、心がなごやかにになりました」などの声が聴かれました。また、参加者が珍しい楽器を見たり、演奏者と談笑したりして、南米の音楽を存分に堪能する姿も見られました。



大盛況の会場

参加者からは次回開催への要望もありましたので、文化広報部としても実現できるように検討していきたいと思えます。



左から酒井氏、渡辺氏、保坂氏、大塚氏

## § 渡辺大輔氏略歴 §

かすみがうら市出身。二〇〇五年、フォルクロレの見聞を広げるべく南米のペルー、ポリビアを探訪。帰国後は土浦市役所に勤務しながら、関東を中心にケーナの演奏活動を始める。

二〇一三年、退職後、プロに転向し、プロ奏者としての活動を本格的に始動、日本最高峰のフォルクロレグループ「MAYA」のメンバーとなる。現在は、演奏活動の他、ケーナ教室での講師として精力的にケーナ普及活動を続けている。



## 新着図書紹介

村上海賊の娘(上・下)

和田 竜

虚ろな十字架

東野 圭吾

ペテロの葬列

宮部 みゆき

豆の上で眠る

湊 かなえ

長生きしたけりゃふくらはぎをもみなさい

槇 孝子

昨日のカレー、明日のパン

木皿 泉

じゃあじゃあびりびり

まつい のりこ

だるまさんシリーズ「が・の・と」

かがくい ひろし

ききがたり ときをためる暮らし

つばた 英子

つばた しゅういち

私の男

桜庭 一樹

紙の月

角田 光代

号泣する準備はできていた

江國 香織

映画ノベライズ her/世界でひとつの彼女

佐野 昌

おいしいごはんはこう作る

魚柄 仁之助

執事だけが知っている世界の富豪58の習慣

新井 直之

子供とおでかけ タダで楽しむパーフェクトガイド

茨城・栃木・群馬

# 町内ウォッチング

## 真鍋二丁目桜まつり

恒例の「真鍋二丁目桜まつり」が四月六日(日)、真鍋二丁目公民館を中心に催されました。

公民館前の新川沿いの桜は満開、お天気にも恵まれ、たくさんのお地元住民が、うららかな春のひと時を楽しみました。

当日は、小学校入学児童の歓迎会に続き、公民館前で、焼きそば、フランクフルト、お餅、かき氷などが参加者や花見客に振る舞われました。また、子供向けの輪投げ大会や、地元保存会による獅子舞が披露されるなどのイベントもあり、大変な盛り上がりとなりました。新川沿いの桜の



縁もあり、真鍋二丁目では、「真桜会」(青年会)、「二桜会」(老人会)など会の名称に桜をつけている他、市民体育祭などで着用するTシャツはピンク地に桜の絵を配すなど、桜をこよなく愛しています。お花見の時期は、土浦市桜まつりに合わせ、新川沿いに提灯の飾りつけを行っており、毎年四月の第一日曜日(真鍋二丁目公民館を中心)に、この桜まつりを開催しています。



## 再建成った木田余鹿島神社

前号「やすらぎ」で神社の沿革と再建に至る経緯を紹介しましたので、今回は完成後の景観と神社の在り方について考えてみました。神社境内は不要な木が伐採され明るくなり、社殿周辺は沿革及び再建関係者が刻まれた記念碑、一对の狛犬、燈籠等、神社としての雰囲気が大きく改善されました。又、内装も立派に出来上がり、十一月には七五三のお祝いも予定されています。四月八日夜に遷座式(御神体を遷す)、四月十四日には竣工式が厳粛かつ盛大に行われました。今回の社殿改築事業は約三百年を経た一大事業でありました。神社再建は幾世代にも亘って守ってきた木田余住民の皆様の悲願であり、再建成った素晴らしい景観を見ると感慨無量なものがあると思います。関係者の皆様には、感謝と御礼を申し上げます。神社とは、地域に住む人の「日々の感謝の心を映す鏡」と云われております。先人が育んできた伝統文化を継承し、子々



孫々まで残してゆくことこそ私たちに課せられた使命であると思えます。東日本大震災・鹿島神社社殿再建のため八坂神社の祭礼(祇園祭)が二年間中止となりました。今年度は新装成った社殿で、七月二十六日・二十七日に厳かにかつ盛大に行われました。祭礼は地域社会の連帯感と絆を高める最大のイベントであり、住みよいまちづくりの一助となることを願っております。

(南川地区長 記)



## 編集後記

近頃は、大型台風由来襲や猛暑など異常気象が気になってしまっています。そんな中でも、子供たちは元気いっぱい活動しています。大人も元気をもらって残暑をのりきりしましょう。

